



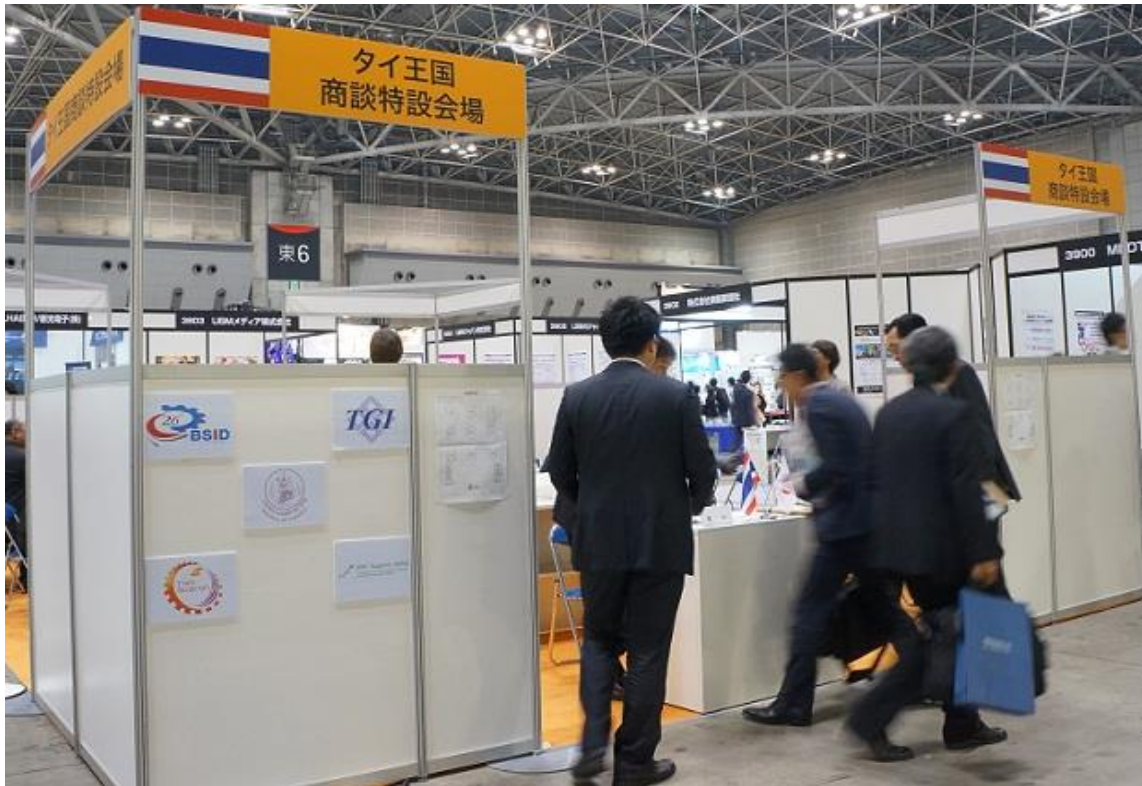
# タイビジネス商談会

@MEDTEC Japan 2015

医療機器の設計・製造に関する「アジア最大」の  
展示会『MEDTEC Japan 2015』内特別ブース

4/  
木 **23**・金 **24**

東京ビッグサイト



## 開催報告

2015年4月22日から24日に開催された医療機器の製造・設計に関するアジア最大の展示会「MEDTEC Japan 2015」において、中小機構はタイ工業省と連携し、日本の医療福祉機器関連企業の海外展開支援を目的に「タイビジネス商談会」を開催した。

高齢化社会の加速によって医療・福祉産業が急速に発展するタイから、日本企業との事業提携等を求めて24社が来日。日本の医療福祉機器関連企業37社と、91件の商談会が行われた。

## タイ産業の未来と日本の企業の架け橋を



中小機構 理事 羽田 譲

今回の商談会は、今年3月に中小機構が開催した「日・ASEAN友好協力事業 商談会 & 交流会」のなかで、タイ工業省のプラモート・ウィッタヤースック副大臣と中小機構・高田理事長との間で、今後もタイと日本の中小企業における交流の機会を増やすことで意見が一致し、実現しました。

中小機構ではASEANなど、さまざまな国や機関とMOU(覚書)を結んでおり、互いの国の中小企業の発展のための協力関係を強化しています。2002年にタイ政府観光庁が「医療ハブ構想」を発表して以来、タイの医療・福祉関連の製造業やサービスへの注目度は高まっています。そして“東洋のデトロイト”と称される自動車産業によって培われた技術を活用した、タイの医療・介護福祉関連の製造業者は世界市場で高い競争力を持つ企業にまで成長してきました。

このような背景を受け、中小機構では医療・介護福祉産業への未来像を描いているタイ企業を支援し、互いの国の中小企業の発展に協力をすべく、この度の商談会を企画いたしました。

今回はとくに、両国間の企業の商談・情報交換が有益なものとなるように、互いのニーズを事前にリサーチ・分析し、各企業の情報をそれぞれの企業へ提供しました。また、商談には、医療機器・福祉業界に精通した日・タイ通訳者も配置しました。

中小機構では今後も、タイをはじめ、ベトナム、インドネシア、ミャンマーなどの各国とも、積極的にこのような取り組みを実施していきたいと考えています。

## 日本企業のタイ進出・業務提携を支援します



タイ王国 工業省 産業振興局 副局長

コプチャイ・サンシッティサウッド氏

現在、タイ下請産業振興協会に所属する企業は400社以上ありますが、その多くは自動車部品を製造しています。しかしながら、タイの自動車産業の市場は縮小傾向にあり、工場内の機械の有効活用が課題となっています。

また、タイでも、今後は高齢者人口の増加が見込まれることから、わが国では、医療機器や老人福祉、介護用具などの産業の発展に注力しています。

タイの医療・福祉機器関連産業においては、いまだ海外からの輸入に頼っている部分が多くあります。例えば、チタン製の人工骨や人工関節などは欧米からの輸入に頼らざるを得ない状況ですが、今回、来日した時計の部品製造企業は、チタンの人工骨の製造に取り組んでいます。このように多くのタイ企業は、新しい製品づくりに挑戦しようとしており、自社ではできないが日本企業ができるであろう技術について、情報交換や技術提携をしたいと考えています。

日本企業に対しては、タイへの進出を支援しています。タイで工場などを設立する際、日本企業が必要とする機能をもつタイ企業をご紹介しますことで、日本側は投資の負担が減り、タイ企業と一緒に製品をつくるできるようになります。

タイ工業省では、今後も日本企業とタイ企業双方の利益となるようなサポート体制を整えていきたいと考えています。



今回の商談会に参加したタイ企業のみなさま



株式会社メトロール

マーケティング部 阿部瑞季さん

弊社は、工場の自動化に貢献する工業用センサーの専門メーカーです。この度、タイ・バンコクにセールスオフィスをつくることになったため、現地でメンテナンスもできる代理店を確保すること、現地ネットワークの拡充を目的に商談会に参加しました。

工作機械を台湾に輸出しているメーカーとの商談では、弊社のツールセッタをOEMで調達したいとお話をいただき、5月にタイを訪問することが決まりました。先方の社長が以前、中小機構を通じて弊社の工場見学にいらしたことがあったとのことで、弊社に良い印象を持ってくださっていたようです。また、医療機器部品メーカーとは、現地工場を訪問して、弊社のセンサーをくわしくご紹介させていただくことが決まりました。

今回は、弊社の要望に沿った企業をマッチングしていただけたので、非常に手応えを感じた商談となりました。通訳が入るとその分、時間がかかりますが、今回は45分と長めに時間が設定されていたので、より具体的なお話ができ、大きな成果を得られました。



株式会社小池メディカル

海外グループリーダー 坪山秀二さん(左)  
海外グループ 谷口悠介さん(右)

弊社は、主に呼吸器に関わる医療機器製品を製造していますが、この国内トップシェア製品を海外で展開すべく輸出に力をいれています。とくにタイの市場には大きな将来性を感じていますが、まだタイとの取引実績がなく足がかりを求めて商談会に参加しました。

インプラント関連部品メーカーとの商談では、業務内容が合致しなかったものの、先方から弊社の機器を扱ってくれそうなタイ企業を探してみてくださいとの回答をいただきました。

海外企業をパートナーとして選ぶのは非常に難しいと感じていますが、中小機構が仲介してくださることで互いの信頼が担保されますので、商談がスムーズに進みます。また、現地言語での通訳が入ると、英語だけではカバーできない情報も得ることができるので助かりました。



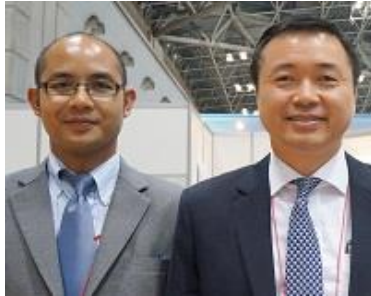
## 関東電子株式会社

代表取締役社長 関 忠好さん

弊社は、ファクトリーオートメーション・パーツの自動供給機などをカスタマイズしてお客様に提供しています。タイも今後さらなる人件費の上昇が予想されるため、工場のオートメーション化が進んでいます。

医療機器・整形パーツメーカーとの商談では、「組み立てや検査を人間の手で行なっているが、限界があるのでフィーダーと検査装置の自動化を検討したい」とのお話をいただき、すでに具体的な内容の検討を進めています。また、大手スプリングメーカーは、非常に小さな特殊なスプリングの製造において自動化に困っているとのことで、さっそくパーツをお送りいただいて、弊社で検討し回答することが決まりました。

私はパソコンで弊社製品の動画をお見せしながら商談することが多いので、いつも時間が足りなくて困っていましたが、今回は時間を心配することなくじっくりとお話することができました。相手企業のマッチングも適切で、成果を感じた商談会でした。



COSMO GROUP PUBLIC CO., LTD.  
CEO ナルポン・ティチャワタナワナさん(右)

PRIME BOX MFG., LTD.  
生産部長 アニルット・ウィチットさん(左)

弊社は時計部品の製造・輸出を50年にわたって行なってきましたが、近年は、医療機器の開発・製造に取り組んでいます。今回の商談会には、医療製品を扱う日本の企業との協業を目的として参加しました。

弊社では現在、タイ政府や医師との共同研究によって、人工骨の製造に挑戦しています。タイでは人工骨を欧米からの輸入に頼っており、患者ごとにカスタマイズして輸入するため非常にコストが高くなるのが問題となっています。我々は、人工骨に関する医療技術や製造ノウハウを共有し、パートナーとして協業できる日本企業を探しています。今回の商談会は、協力関係を築けそうな日本企業との可能性を感じることでできた良い機会となりました。



C.C. AUTO PART CO., LTD.

社長 ブーンラート・チョットチョイさん(左)  
副社長 ラッターワン・チョットチョイさん(右)

弊社は自動車関連の事業を展開して26年になります。プレス加工や金型で製造した部品を塗装・組み立てし、自動車関連メーカーに納品しています。1997年以降は医療機器分野での製品開発に取り組み、現在は歯科クリニック関連で27項目の医療製品を扱っています。

今回の商談では、マッチング企業の選定が的確で、同じ目線で商談を進めることができ、非常に充実した内容となりました。双方でパートナーとなれそうな企業との出会いもあり、今後の発展に期待をしています。

インプラント関連製品のメーカーとの商談では、タイ市場にはまだ参入されていないとのことで、弊社の顧客に製品を販売することの可能性についてお話をしました。あと数回、打ち合わせをすれば商談が成立するのではないかと思います。

どの企業とも意義のあるお話ができた、すばらしい商談会でした。

## タイビジネス商談会@MEDTEC Japan 2015 概要

---

日程:2015年4月23日(木曜)・24日(金曜)

会場:東京ビッグサイト「MEDTEC Japan 2015」会場内

主催:タイ王国工業省(産業振興局、タイ王国大使館工業部)／独立行政法人中小企業基盤整備機構／UBM Canon Japan G.K.／タイ下請産業振興協会

後援:タイ・ドイツ機構(TGI)／日本福祉用具・生活支援用具協会(JASPA)／一般社団法人首都圏産業活性化協会(TAMA)／国際機関日本アセアンセンター

---

中小機構では、今後も日本の中小企業の皆様にとって、より有意義な商談会の開催を目指していきたくと思います。今回ご参加いただけなかった方々も、次の機会には、ぜひご参加ください。

## お問い合わせ先

---

独立行政法人中小企業基盤整備機構 販路支援部 販路支援課  
藤巻／松山／坂口  
〒105-8453東京都港区虎ノ門3-5-1虎ノ門37森ビル  
電話03-5470-2375／FAX03-5470-2376／E-mail:international@smrj.go.jp